

平成 30 年度 京都大学防災研究所 拠点研究（一般推進研究） 30A-03 研究集会
「活断層周辺で発生する大地震による強震動とその予測に関する研究集会」

2019 年 3 月 7 日（木）13 時～17 時 30 分
京都大学宇治おうばくプラザ セミナー室 4&5
主催：京都大学防災研究所 拠点研究 30A-03

プログラム

※参加申し込み不要。当日会場にお越しください。
※講演者、講演題目、講演順は変更する場合があります。

13:00 – 13:05 挨拶 浅野公之（京大防災研）

13:05 – 14:10 2018 年 6 月 18 日大阪府北部の地震

○浅野公之・岩田知孝（京大防災研）・Miroslav Halo（カレル大学）

「2018 年大阪府北部の地震の震源過程と地震活動」

○染井一寛・宮腰 研（地盤研）

「2018 年大阪府北部の地震の強震動生成域モデル」

○堤 浩之（同志社大）・飯尾能久（京大防災研）

「2018 年大阪府北部の地震の震源域周辺の活断層」

14:10 – 15:30 断層近傍地震動の予測：課題と展望

○長坂陽介（港空研）

「内陸地殻内地震の強震動シミュレーションに関する最近の研究」

○豊増明希・後藤浩之・澤田純男（京大防災研）

「平成 28 年熊本地震前震における後続パルス波を再現する 3 次元断層モデル」

○吾妻 崇（産総研）

「強震動予測を目的とした詳細活断層図の作成に関する課題」

○浜辺亮太・松島 信一（京大防災研）・吾妻 崇（産総研）・Florent De Martin（BRGM）

「盆地端部における段差構造の形状がエッジ効果の特性に与える影響に関する研究」

（休憩）

15:40 – 17:20 地盤震動に関する新たな手法開発と現地調査事例

○長 郁夫（産総研）

「SPAC 法による 2 点アレイ：経験的精度評価と SPAC 係数虚部に基づく補正」

○林 穂高・後藤浩之・澤田純男（京大防災研）

「地盤震動理論に基づいたパラメータ群による地震動増幅特性の高精度評価法」

○佐藤啓太・松島信一・松下隼人・増田竣介（京大防災研）・吾妻 崇（産総研）・野澤 貴（鹿島建設）・浜辺亮太・溝上永純・叶 婷・中本幹大・佐伯琢磨（京大防災研）

「微動観測記録に基づく横手盆地の推定地盤構造の増幅特性評価」

○山田真澄（京大防災研）・花蓮地震地盤調査チーム

「2018 年台湾花蓮地震と花蓮市の地盤構造推定」

○松島信一・叶 婷・松下隼人・浜辺亮太・浅野公之・永井夏織・長嶋史明（京大防災研）・中嶋唯貴・岩崎祥太郎（北大工）・澤 昭吾・佐伯琢磨（京大防災研）

「北海道胆振東部地震の被害地域における微動観測」

17:20 – 17:30 総合討論 と まとめ

※問い合わせ先 京都大学防災研究所 浅野公之 k-asano@egmdpri01.dpri.kyoto-u.ac.jp